

◆適切な運用が肝心！デジタル化に潜むリスク◆

さて、あなたの会社では、どのくらい「デジタル化」に取り組んでいますか？

- ◆ ----- ◆
適切な運用が肝心！
「デジタル化」のリスクとは
- ◆ ----- ◆

近年、「デジタル化の推進」や「デジタルトランスフォーメーション(DX)」が注目されています。経済産業省も企業のDX推進に向け、様々な施策を展開しており国を挙げて取り組んでいる状況です。

一般的に、デジタル化のメリットには

- 人手不足を解消できる
- スピーディーに情報共有できる
- 必要な情報の管理、検索が容易になる などがあります。

例えば、重要な資料をデジタル化すると印刷や押印、ファイリングといった手間がなくなります。これにより、残業が減ったり重要な業務への注力が可能となるでしょう。

デジタル化は組織の生産性を向上させ、一見良いことづくめのように感じられます。

しかし、以下のようなデメリットもあるようです。

- ウィルスや人為的ミスによる情報漏洩
- システム障害などのトラブル
- 導入時にかかる費用と時間 など。

私たちのような中小企業は、ただでさえ忙しい毎日を送っているのでDX化に時間を割くことを考えると躊躇してしまいますよね。

しかし、この変化に対応しないまま突き進んでしまうと、これからの社会で生き残れなくなる可能性もゼロではありません。今すぐに最新のシステムを導入したり、ITに精通した人材を確保することは難しいものです。

しかし、DXを意識した経営戦略を練ることなら、案外できるのではないのでしょうか。

【何をデジタル化すれば自社は成長できるか】
その視点が、きっとDX化の第一歩となるはずですが、是非考えてみてはいかがでしょうか。

編集後記

今回は「デジタル化に潜むリスク」をテーマにお伝えしました。
デジタル化は費用も時間もかかるため、簡単には導入できませんよね。

どこをデジタル化すれば本当にメリットがあるか、当社もしっかり考えてみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。

